

乗合バスにおける二人乗りベビーカーの利用について(概要)

1. 二人乗りベビーカー利用の現状と課題

- ✓ 毎年およそ100人に1人が双子や三つ子などの多胎児を出産しているといわれており、出産後も医療設備の整った病院に通院する必要があるため、複数の乳幼児を連れて公共交通機関を利用する機会が増加。
- ✓ 乗合バスなど公共交通機関においては、ベビーカーを折りたたまずに使用できるよう取り扱うことが基本。
- ✓ しかしながら、二人乗りベビーカーについては、サイズが大きく、そのまま乗車すると通路を塞いでしまうことなどから、折りたたまないで乗車できないという取り扱いをするバス事業者もある。
- ✓ ベビーカーメーカーも二人乗りベビーカーをバスの中では使用しないよう取扱説明書で注意を促している。

2. 二人乗りベビーカーの利用に関する考え方

安全性実証試験の結果、標準的な構造の二人乗りベビーカーにおいては、以下の対応が確保される場合は「折りたたまずに使用できる」ことを基本とする。

(1) バス事業者の対応

- ① バスへの乗降は、求めに応じ運転者が補助
- ② 横型の二人乗りベビーカーの場合は、座席(2席)の跳ね上げを運転者が補助する
- ③ 既に座席に座っている方がいれば移動を運転者が要請

(2) ベビーカー使用者に求める対応

- ① ベビーカーのシートベルトの着用
- ② 進行方向後ろ向きにベルトで2箇所固定
- ③ ベビーカーの車輪のロック
- ④ 走行時は片手でハンドルを支える

3. 今後の対応

二人乗りベビーカー使用者が安全に乗合バスを利用できるようにするため以下の対応を実施する。

(1) 当面の対応

- ① 二人乗りベビーカー(横型)をバス車内で固定するために座席を跳ね上げる場合、現在設置されている固定ベルトでは短いため、固定ベルトを接続して1箇所を固定し、さらに車いすスペースに設置されている車いす用の補助ベルトなどを使用して、もう1箇所を固定する
- ② バス車内でのベビーカーの固定方法について、バス事業者のホームページ等で分かりやすく案内する
- ③ 国等は、引き続きベビーカーキャンペーンを実施し、周囲の方にベビーカー利用への理解・配慮をお願いする
- ④ 二人乗りベビーカーを含むベビーカー使用者への対応について、バス事業者の社内教育等を通じて運転者に周知する
- ⑤ ベビーカーメーカーは、取扱説明書の内容の見直しを検討する

(2) 今後検討すべき課題

- ・バス事業者及びバスメーカーは、座席を跳ね上げてもベビーカーを固定できる長さのベルトの仕様・導入を検討する。また、「フリースペース」の設置など車内レイアウトも検討する